



Q 57歳主婦。8月末に回腸末端炎と診断され

通院治療で良くなりましたが、最近右足のつけ根のあたりがポコンと飛び出たり引っ込んだりするようになりました。座ったり寝ている時はないのですが、立っていると出ます。脱腸でしょうか。

△回答▽

みやざき外科・ヘルニア
クリニック(札幌市中央区)

宮崎 恭介さん



脚の付け根を鼠径部^{そけいぶ}と言います。この部位が立つと膨らみ、横になると平らになる病気は鼠径ヘルニアで、脱腸とも言われています。50歳以上の男性に多い病気ですが、女性にも起こり、男女比は4対1です。

女性では、立ち仕事や妊娠、出産など腹圧がかかることが多いと、鼠径部の腹壁が弱くなって穴が開き、おなかの中から腸が飛び出てきます。また、幼児期の鼠径ヘルニアを放置して成人になって

鼠径ヘルニア

痛みなければ緊急性なし

大きくなる場合や、性周期に一致して鼠径部の膨らみに気づく場合もあります。

症状は、飛び出る臓器によって違います。小腸が出ると腹痛や吐き気が出ますし、大腸が出ると便秘や下痢になります。もし、小腸から大腸の移行部が出ると回腸末端に炎症を起しますが、今回の回腸末端炎と鼠径ヘルニアとの関係は、ご質問からは判断できず、単に回腸末端炎を起した後に鼠径ヘルニアになった可能性もあります。

治療は手術です。日常生活に気をつけても次第に大きくなります。まれですが、鼠径部の痛みを我慢していると急に腸が飛び出て戻らなくなり、緊急手術になることもあります。ご質問の方は、出たときの痛みがないので、手術の緊急性はありません。ご自身の判断で手術の時期を決めてください。手術は、穴をメッシュシートでふさぐ方法が一般的です。最近ではメッシュシートが改良され、手術後の異物感が減少しています。現在の状態を治したいなら、外科の受診をお勧めします。

この欄への質問や、取り上げてほしいテーマを募集しています。住所、氏名、年齢、職業、電話番号(紙面では匿名とします)を添え、郵便かファクス、電子メールで生活部へお寄せください。